

生成AIツールの利用について

2023年7月
東京通信大学

東京通信大学は、「創造力」、「豊かな人間性」を根幹とする教育を通じて、自立した人格を育て、教養ある職業人を育成することを目指しています。

生成AIツールは学習体験を豊かにする効果的なツールとなり得ます。実際に自分の学びに役立つかどうかは、自分自身で試用し、評価することが重要です。生成AIという新たなテクノロジーと自分の学びとの関連性を理解し、自分の専門知識や技術の深化と発展に活用する能力を身につけることが期待されています。

したがって、本学の学習における生成AIの使用にあたっては、技術の概要を理解した上で、自分の「学び」につながるかどうかを常に意識して、以下の留意事項に配慮しながら活用してください。

1. 授業での利用: 授業の内容によっては、生成AIの利用が個々の学びにつながらない可能性があります。それぞれの授業における利用の可否については、科目担当教員の指示に従ってください。
2. 教育効果: 大学での学びに重要なのは、知識生成や知識の洗練化・統合化を通じて思考力を高めることです。生成AIツールを無批判に利用することで学びの機会が失われる可能性があります。常に自分で考え、調べることを心掛けましょう。
3. 情報の確認: 生成AIが出力する情報は技術の性質上、内容に誤りが含まれる可能性があります。出力された内容を活用する際は、必ず自分で内容、出典、根拠を確認しましょう。
4. 著作権: AIによって生成された出力結果(特に画像の場合)をそのまま利用すると、著作権侵害になる可能性があります。十分に注意して利用してください。
5. 情報漏洩: 個人情報や秘匿情報の入力には気を付けましょう。生成AIの学習データに利用される可能性があります。

今後AIツールの活用力は社会人必須のスキル(AIリテラシー)として認識される可能性があります。上記の留意事項を意識し、積極的に活用を進めることを推奨します。

なお、生成AIツールは常に進化しており、将来的には様々なアプリケーションに組み込まれていくでしょう。このガイドラインもツールの変化に合わせて適宜更新されます。

以上